

草苑保育専門学校

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		草苑保育専門学校（保育専門課程）		設置者名		学校法人草苑学園			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
	幼稚園教員・保育士養成科	昭和29年度	50人	幼二種免	昭和29年度	77人	73人	73人	16人
入学定員合計			50人	合計		77人	73人	73人	16人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 								

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和4年11月28日（月）

実地視察大学：草苑保育専門学校

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教員組織等について、教員養成機関指定基準等と照らし合わせ、是正すべき点があるので今後の対応について速やかに検討していただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する理念は示されているが、教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織がその理念を具現化するものとなっているかが判然としなかった。それらが充実したものとなるよう、一層努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○学内で育てたい教師像を共有し、教職課程の科目の授業内容が教職課程コアカリキュラムを満たしているか確認できるよう、教員個人に授業内容やシラバスの作成を委ねるのではなく、学校として確認・チェックする組織や体制を設けるよう検討すること。

○保育内容の指導法と領域に関する専門的事項は、科目の目的や扱う内容が異なるので、それぞれに応じて、生徒の知識が深まり、技術を獲得できるように授業内容や指導方法の改善すること。

○教員組織に関連し、学内の紀要について確認したところ、執筆者によって論文の質に差があることが見受けられたため、学内の査読体制の充実や編集方針等を検討することが望ましい。また、保育の内容について、最新の情報が学内で学べるようFDの充実を図ること。

3. 教育実習の取組状況

○実習校の選定・調整を学校が行っていることや実習校の巡回指導等を丁寧に行っている点は評価できる。また、教育実習の成績評価について、学校が責任をもって行っていることが確認できた。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

○教育実習先についての生徒の記録を蓄積しており、これから実習に行く生徒が自由に閲覧できるようにするなど、工夫が見られた。

○卒業生の就職先を訪問しアフターフォローとして声を聞くことや、卒業生と生徒の

交流によりモチベーション向上となるよう取り組んでいる点など、様々な工夫をしていることが確認できた。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○指導大学との連携状況が判然としなかった。年2回の定例教職員協議会だけでなく、普段から密に連携できるような体制やシステムの整備を検討することにより、連携の充実を図ることが望ましい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○生徒が集中できる環境で授業を受けられるようピアノ実習室の防音設備を検討することが望ましい。

○生徒が図書館を活用できるように自習や読書のための十分なスペースが設けられることが望ましい。その際、生徒が図書館に関心が向くように、図書館の書籍の紹介等、工夫することが望ましい。

○図書の種類・冊数の充実や新たな書籍の購入等、充実を図ること。

7. その他特記事項

○指定教員養成機関として指定を受けている幼稚園教員・保育士養成科の入学定員は50名であるが、過去にこれを大幅に上回る年度があったことや、近年においてもこれを相当数超えていることが確認された。学則上では、幼稚園教諭免許取得コースを定員50名と規定しているものの、生徒への実際の周知や指導がどのように行われているか判然としない点が見受けられた。指定を受けた定員数に見合う適切な規模で幼稚園教諭の養成を行うよう是正すべきである。

○教員養成機関としての質を担保するため、教育課程や教員組織の在り方について指導大学の指導の下、内容や体制の充実を図っていくこと。また、学内のFD研修への協力など、指導大学の知見を生かせるような連携の方策を検討すること。